



前史雄教授から本学に寄贈された沈金棗「菊文」

前教授から沈金の棗寄贈

人間国宝の技 凝縮の逸品

金沢学院大学美術文化学部教授で沈金の重要無形文化財保持者（人間国宝）である前史雄先生「輪島市在住」から十月十九日、学校法人金沢学院に作品の寄贈がありました。

寄贈されたのは「沈金棗（なつめ）菊文」で、高さ、直径ともに七・五センチ。今年初め輪島で開催された第二十二回日本伝統漆芸展に出品されたものです。

今年の日本伝統漆芸展 出展作品

ヒノキの木地に繊細な線彫り、点彫りで菊の花を十文字に配列し、艶のある黒塗り地の部分との対比に趣を醸し出した逸品です。前教授は「学内で進めているアートの杜の作品に加えてもらいたい」と話しています。

寄贈品は、貴重な美術品として大切に保管するとともに、美術文化学部の教材として生かしていくことにしています。

役に立ちます就業体験

金沢学院大 インターンシップ報告会

金沢学院大学全学就職委員会と就職指導部は十月十四日、4号館講堂で、インターンシップ報告会を開き、二年生、三年生が今夏



就業体験について説明する学生。4号館講堂

に企業体験実習に参加した学生の話の聞きまし。報告会では、三学部合わせて十五人が演壇に立ち、石川、富山、新潟県内の役所、酒造会社、建設会社、金融機関、マスコミなどに受け入れてもらい経験した

仕事の内容と得た教訓などを話しました。イベントのスタッフを務めた学生は「裏方の苦勞を知った」「コミュニケーションの大切さが分かった」と述べました。金融機関体験者は「ピリピリした雰囲気だったが、いろいろと情報交換できた」などの感想を披露し、いずれも就業体験の効用を強調しました。

2年ぶり犀鶴トレッキング

金沢学院東高校の犀鶴トレッキングは十月十九日、金沢市の山あいを周回するコースで行われ、全校生徒が二十キロを踏破しました。

昨春秋は、山里にもクマが頻繁に出没したため、この学校行事は中止されており、二年ぶりの実施となりました。

東高全校生、20キロを踏破



真は、それぞれ自分に合ったペースで歩を進め、自然の息吹を満喫しました。

石田学長が国際交流論の教壇に



熱弁をふるつ石田学長

金沢学院大学の石田寛人学長は十月六日と十三日、文学部国際文化学科の国際交流論の担当教員として教壇に立ち、駐チエコ大使などを務めた豊富な経験をもとに講義を行いました。

「グローバル化の光と影」をテーマにした二回目の講義では、東欧諸国の変遷などに触れながら、国際的依存と安全保障、国際化の基準などを解説しました。

土曜大学で柔道学ぶ



金沢学院大学基礎教育機構の第六回土曜大学は十月八日、第二体育館で行われ、渡辺涼子教授が、一般参加者に礼法、受け身、立ち技や固め技などの技術を丁寧に指導しました。（写真は指導の様子）

硬式野球2位 軟式V2

北陸大学硬式野球の秋リーグ戦で、金沢学院大学は7勝3敗で2位に終わりました。全勝優勝した福井工大に2敗、富山国際大に1敗しました。

北陸大学軟式野球リーグでは本学は7連勝の全勝で、昨年に続いて優勝しました。十月二十五日から愛媛県松山市で開かれる西日本大会に出場します

あすなる善行賞を受賞

金沢学院東高校二年の木村璃佳子さんは十月十三日、北国新聞社の第十回北國あすなる善行賞を受賞しました。木村さんは、金沢市金石校下の高校生リーダーとして、地域の子どもたちに奉仕の大切さを教え、信頼を得ていることが評価されました。

発行・広報室